

2017年3月期
(第2四半期)

決算説明会

amaze! in
YamazeN.

驚きは、山善の中にある。

2016年11月22日

代表取締役社長(CEO) **中田 繞**

AGENDA

- I. 2017年3月期(第2四半期)決算概要
- II. 中期経営計画「 **ONE**X**T** **YAMAZEN** 2018 」
- III. 2017年3月期(通期)業績予想
- IV. 株主還元

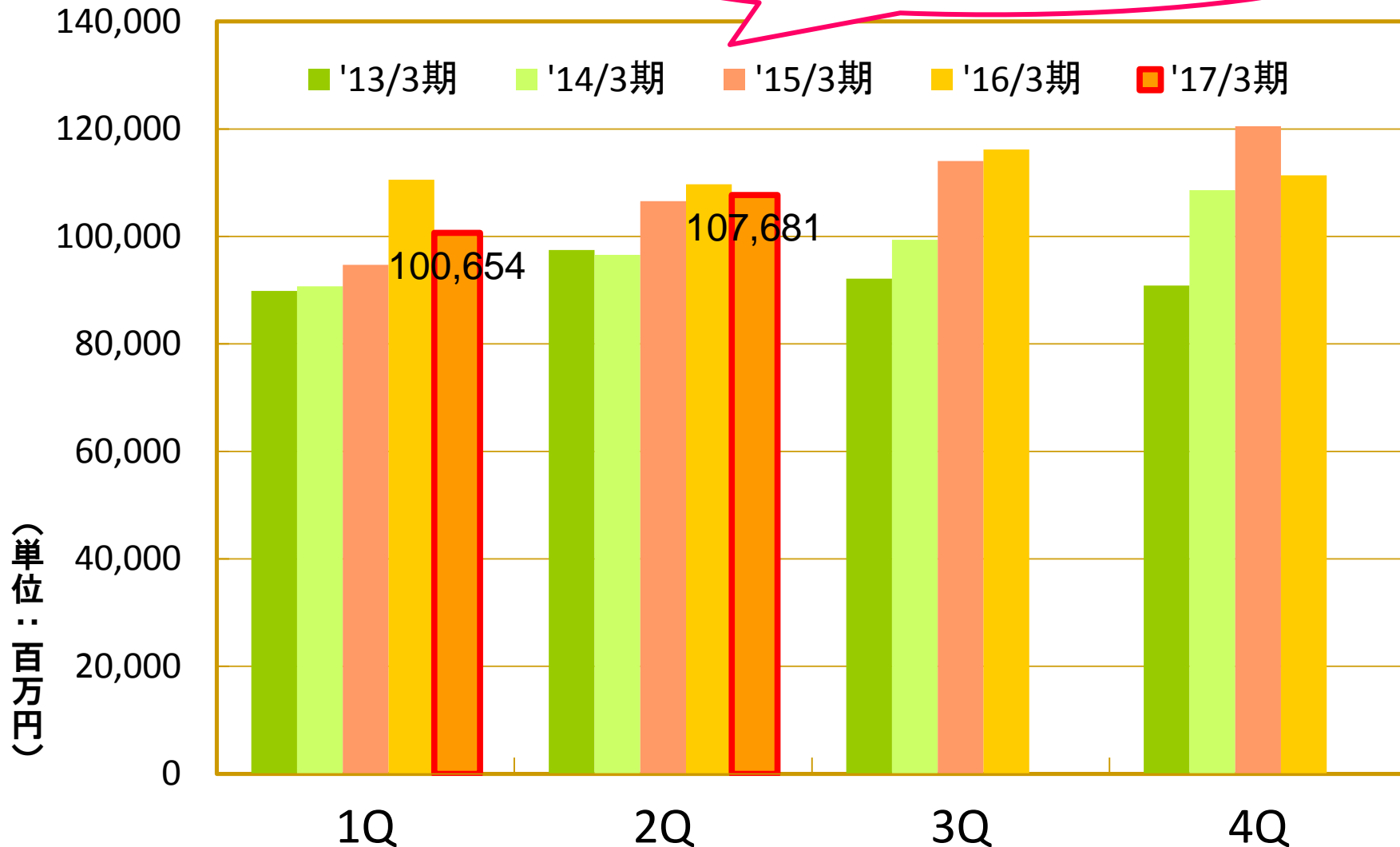
I . 2017年3月期(第2四半期)決算概要

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)	2016年3月期 (第2四半期)	2017年3月期 (第2四半期)	増減率 %	公表計画 (期初)	公表計画 対比%
売上高	220,243	208,335	△5.4	220,000	94.7
売上総利益 (総利益率)	28,502 (12.9%)	27,381 (13.1%)	△3.9 (0.2)	—	—
販売管理費	22,123	22,249	0.6	—	—
営業利益	6,378	5,132	△19.5	5,600	91.6
営業外損益	214	△27	—	—	—
経常利益	6,593	5,105	△22.6	5,800	88.0
特別損益	135	39	—	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,428	3,379	△23.7	3,700	91.3

■ 四半期比較(過去5年)

昨年を下回るも、一昨年第2四半期以来
9四半期連続の売上1,000億円超

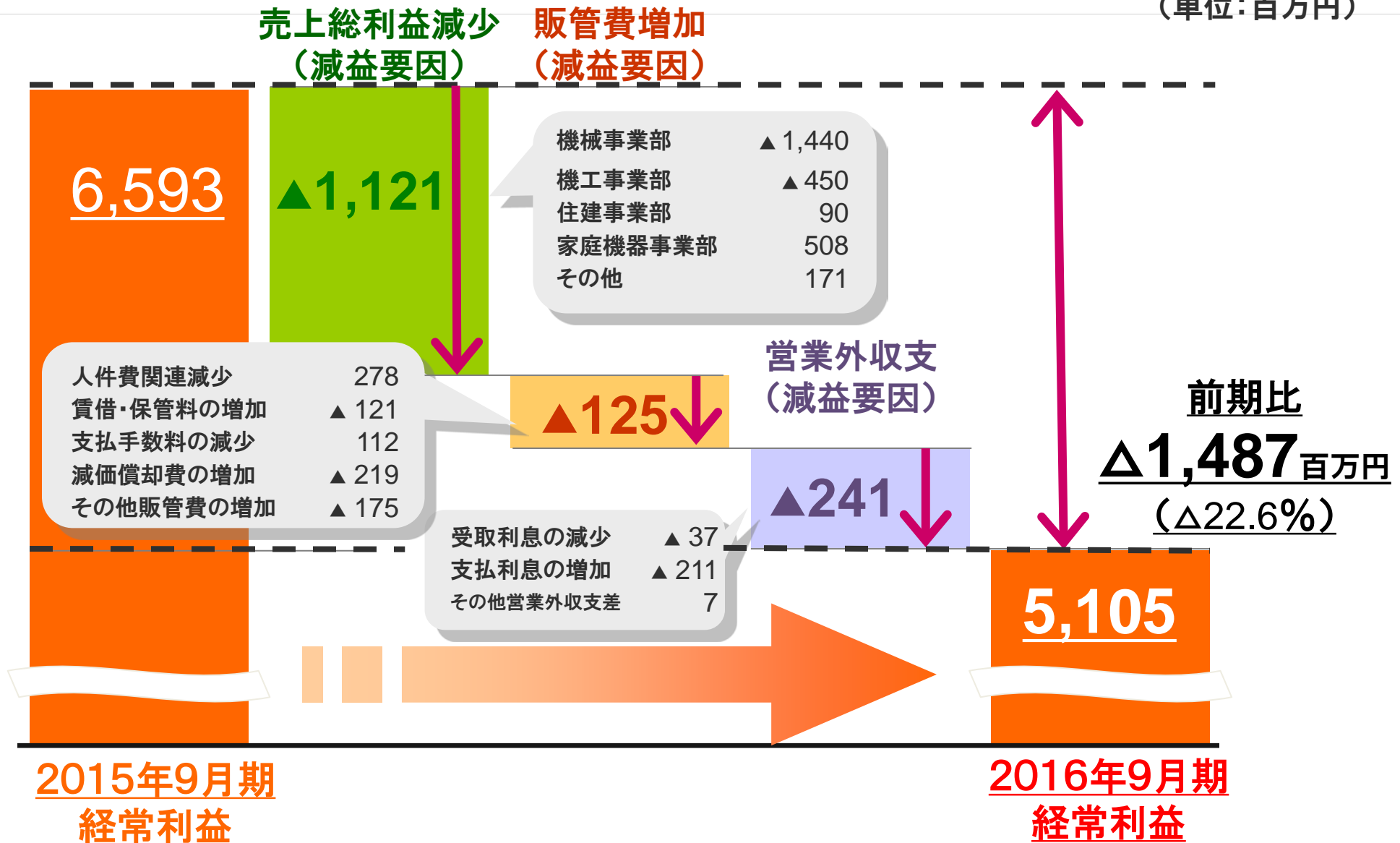


■ 事業別売上高／公表計画対比

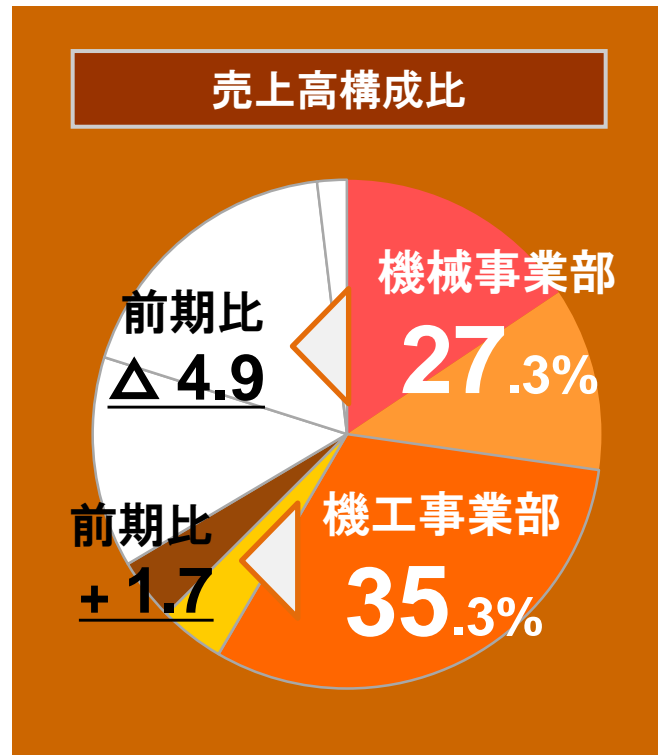
(単位:百万円、%)	2016年3月期 (第2四半期)	2017年3月期 (第2四半期)	前期比 増減率%	公表計画 (期初)	計画 対比%
機 械 事 業 部	70,855	56,777	△19.9	63,000	90.1
機 工 事 業 部	74,119	73,500	△0.8	78,000	94.2
システムエンジニアリング部	7,868	8,228	4.6	8,000	102.9
(生産財関連計)	152,843	138,507	△9.4	149,000	93.0
住 建 事 業 部	27,579	27,910	1.2	30,000	93.0
家庭機器事業部	35,876	38,005	5.9	37,500	101.3
(消費財関連計)	63,455	65,916	3.9	67,500	97.7
そ の 他 部 門	3,944	3,912	△0.8	3,500	111.8
合 計	220,243	208,335	△5.4	220,000	94.7

➤ 今年4月1日付の生産財事業の機構改革により、セグメントが一部変更になっています。

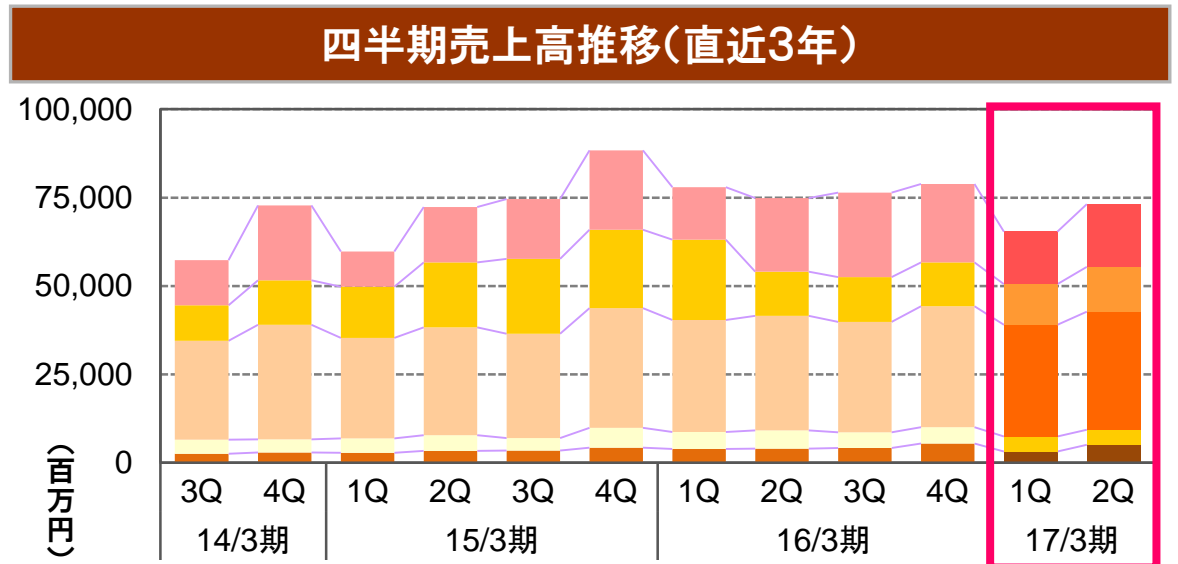
(単位:百万円)



(単位:百万円)		前年同期	2017年3月期(第2四半期)		
生産財	生産財合計	売上高	152,843	138,507	(増減率) $\Delta 9.4\%$
		営業利益	5,616	4,366	利益率 3.2%



- 生産財事業を再編し、生産財統括の元に、それぞれ国内事業と海外事業を持つ機械事業部と機工事業部を設置。
- 国内5営業本部、海外4営業本部の計9営業本部体制へ。

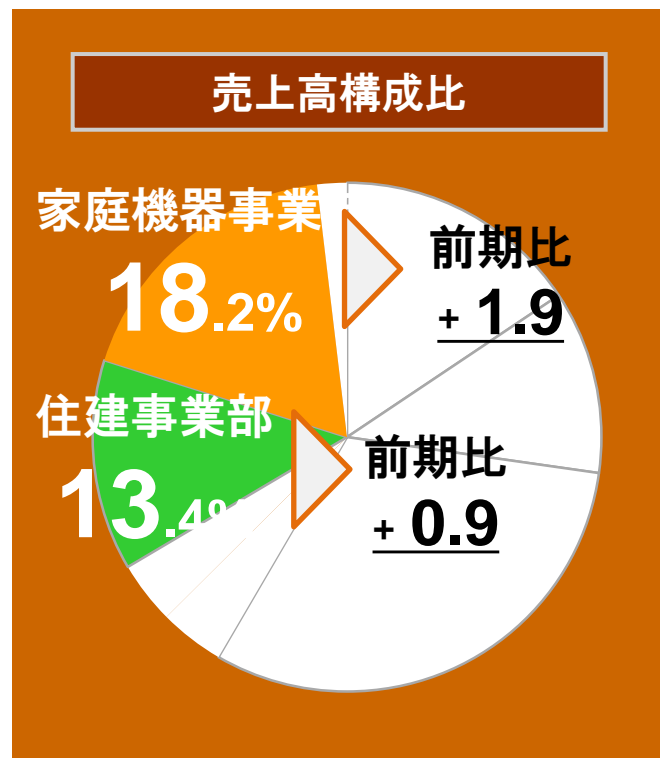


■ 生産財事業の売上高内訳

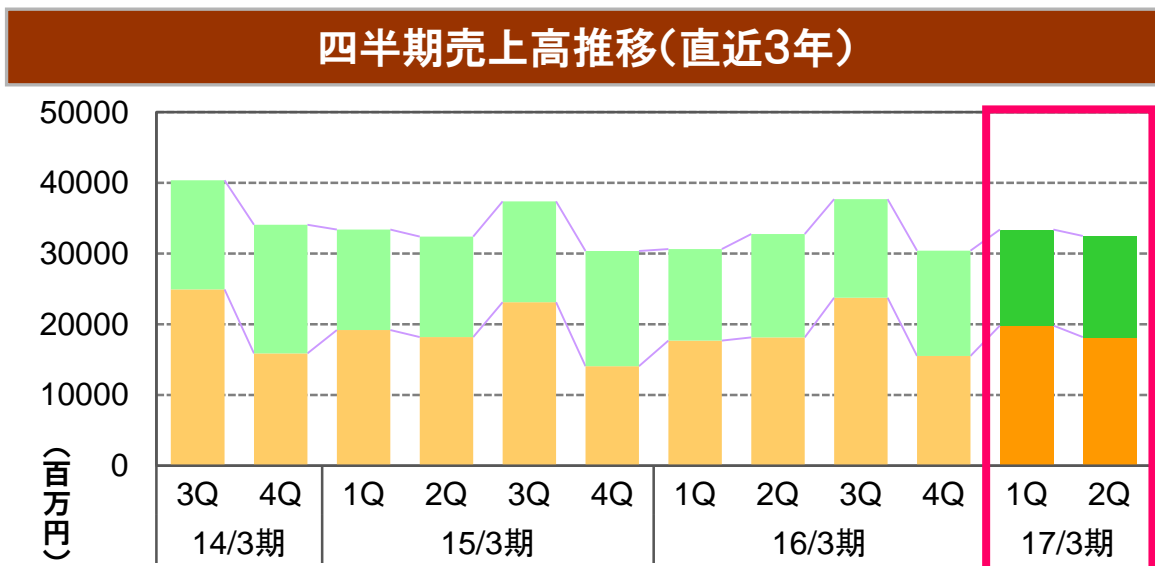
(単位:百万円)			前年同期	2017年3月期(第2四半期)		
生	機械事業部	(国内)	35,648	32,524	(増減率)	△ 8.8%
		(海外)	35,206	24,253	(増減率)	△ 31.1%
		合計	70,855	56,777	(増減率)	△ 19.9%
産	機工事業部	(国内)	64,045	64,932	(増減率)	1.4%
		(海外)	10,074	8,568	(増減率)	△ 14.9%
		合計	74,119	73,500	(増減率)	△ 0.8%
	システムエンジニアリング部		7,868	8,228	(増減率)	4.6%
財	生産財	合計	152,843	138,507	(増減率)	△ 9.4%

- 国内機械事業では、先行きの不透明感から設備投資に対して慎重になる傾向が見られ、工作機械の販売は前年同期に比べ減少。
- 海外機械事業では、米国市場は堅調、中国市場も自動車関連産業からの受注は底堅いが、EMS向けの工作機械の需要が大きく落ち込む。ASEAN市場は、一部の地域での設備投資が上向く。
- 国内機工事業では、工作機器や切削工具の出荷がやや低調な動きで推移するも、鉄骨・鍛圧機械や空調機器は前年同期を上回る受注で推移。

(単位:百万円)		前年同期		2017年3月期(第2四半期)	
消 費 財	住 建 事 業	売 上 高	27,579	27,910	(増減率) 1.2%
		営 業 利 益	612	627	利益率 2.2%
消 費 財	家 庭 機 器 事 業	売 上 高	35,876	38,005	(増減率) 5.9%
		営 業 利 益	1,036	1,162	利益率 3.1%



- **住建**は主力の水廻り、空調機器に回復が見られ、増収増益。
- **家庭機器**は、後半の天候不順に苦しむも、家事家電、ペット関連伸長。「質」の改善にこだわり、増収増益。

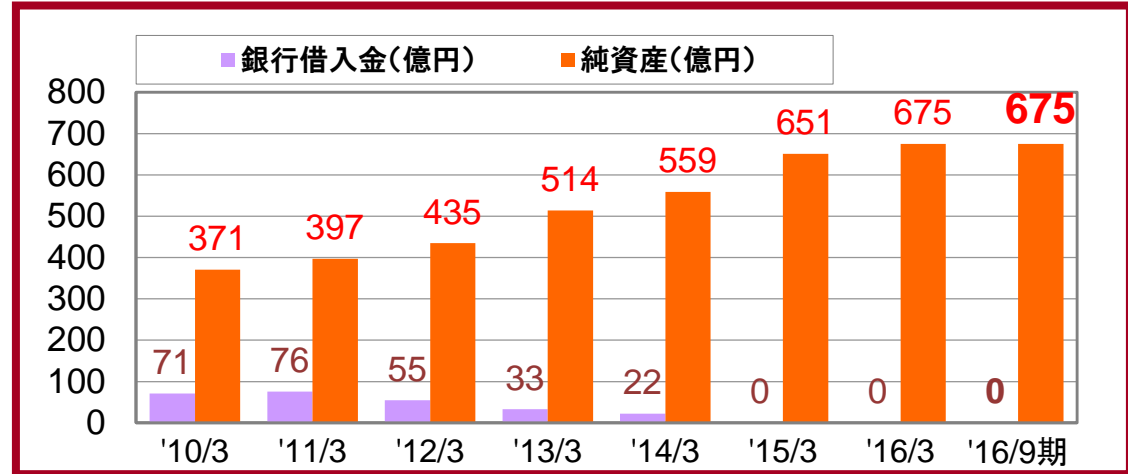


貸借対照表

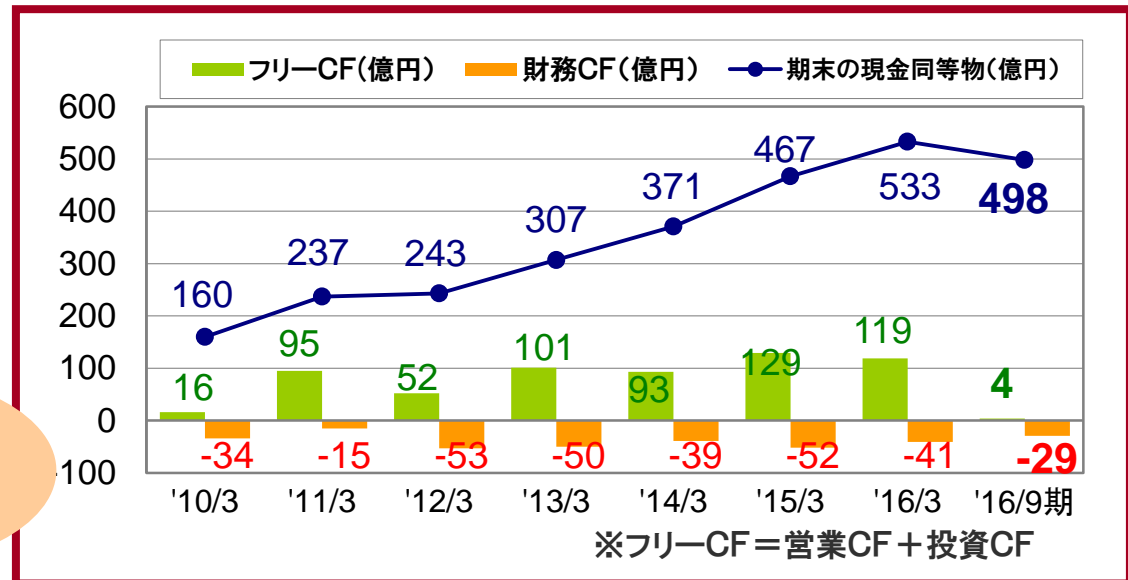
資産	負債・純資産
流動資産 1,712 (△112)	流動負債 1,189 (△113)
	固定負債103(△3)
固定資産 255(△4)	純資産 675 (±0)
総資産1,968(△116)	自己資本比率 34.2%

(2016年9月末現在/単位:億円)

銀行借入金／純資産推移



キャッシュフロー推移



Ⅱ. 中期経営計画「 **ONE**X**T** YAMAZEN 2018 」

取扱量の
拡大

付加価値
向上

経営基盤
安定化

amaze! in
YamazeN.

驚きは、山善の中にある。

*Beyond
Expectation*

モノづくりを支え、快適生活空間を創造する専門商社として、“Amaze”を提供し続ける

ONEXT 2018

YAMAZEN

ひとつになって、この先へ。

5,000億円へ向けた収益基盤構築

営業力の更なる強化

海外展開の更なる拡大

生産性の向上

物流イノベーション

ひとつになって、この先へ

IT基盤の整備

次世代に向けた人材育成

ONEX**T** 2018
YAMAZEN
ひとつになって、この先へ。



Next 1 (one) 生産性の向上

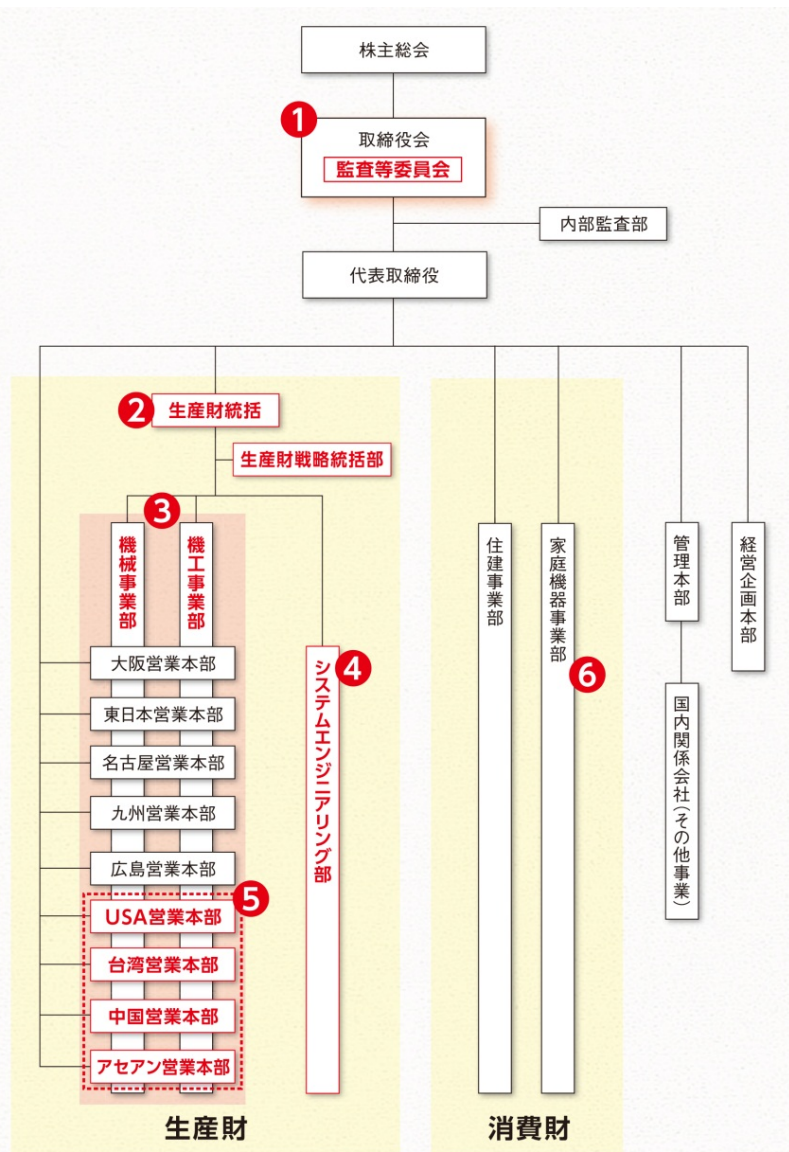
- Next 1-1) エンジニアリング機能の強化
- Next 1-2) eビジネスのさらなる強化
- Next 1-3) 物流イノベーションの継続
- Next 1-4) ワークスタイル改革
- Next 1-5) 環境負荷の低減

Next 2 (two) 海外展開の拡大

- Next 2-1) グローバル・マーケティングの推進
- Next 2-2) グローバル・サプライチェーンの構築

Next 3 (three) 次世代に向けた人材育成

- Next 3-1) 人材教育プランの策定
- Next 3-2) 中途採用／有資格者採用の推進
- Next 3-3) 女性管理職の育成



- ① 『監査役会設置会社』から「監査等委員会設置会社」へ移行 (2016年6月24日)
- ② 生産財事業の統括責任者として「生産財統括」を設置
生産財戦略統括部を設置
- ③ 国際事業本部を機械事業部と機工事業部に統合し、国内・海外の垣根のないシームレスな営業体制を構築
- ④ 国際事業本部SE支社と機工事業部第3営業部SD課を統合し、「システムエンジニアリング部」を新設
- ⑤ 海外5支社を4営業本部に再編
国内外合わせ9営業本部体制へ
- ⑥ 家庭機器事業部はエリア主体から商品・ジャンル主体の営業体制へ移行すると共に、マーケティンググループを設置

■ 損益計画

(単位:百万円)	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (計画)	2018年3月期 (計画)	2019年3月期 (計画)
売上高	447,774	460,000	480,000	500,000
営業利益	13,258	13,300	14,000	14,700
経常利益	13,503	13,600	14,300	15,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,192	8,700	9,300	10,000

■ 主要財務指標

(単位:%)	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (計画)	2018年3月期 (計画)	2019年3月期 (計画)
総資産営業利益率 (R O A)	6.5%	6.3%	6.4%	6.5%
総資本回転率	2.19回	2.15回	2.16回	2.17回
キャッシュフロー・ マージン率	3.4%	3.2%	3.3%	3.5%

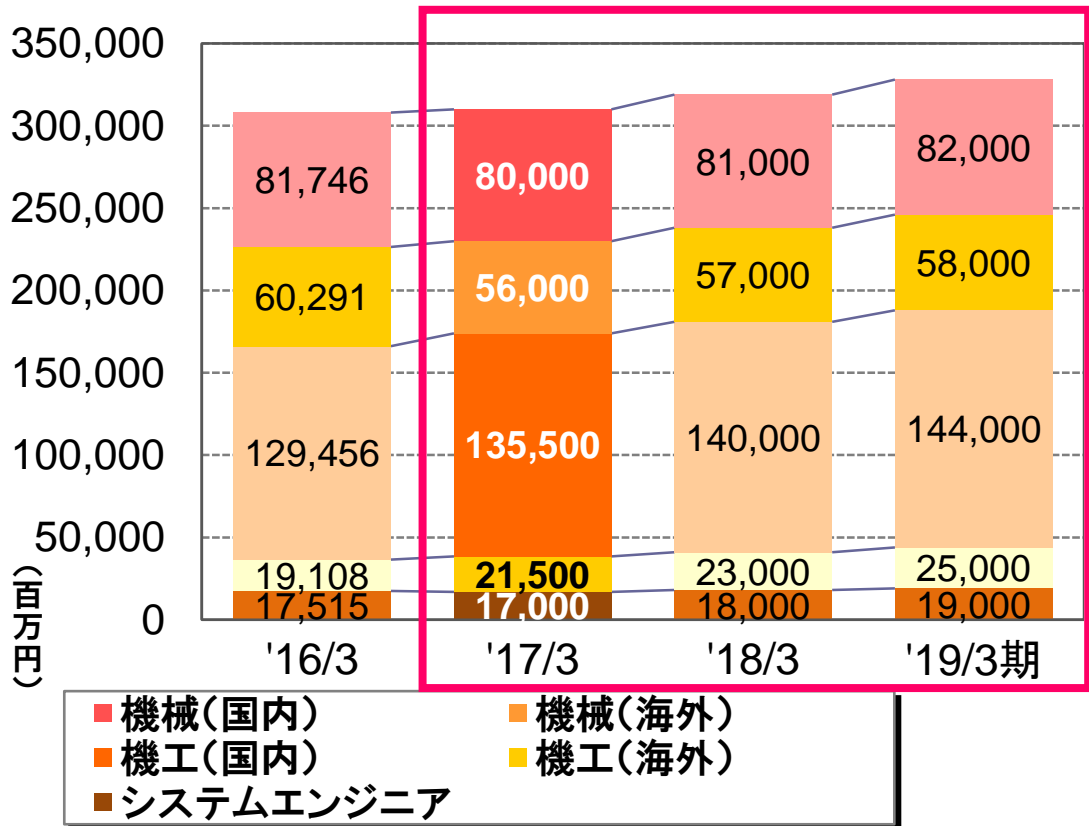
Ⅲ. 2017年3月期(通期)業績予想

 「ONEXT YAMAZEN 2018」初年度として、目標に果敢にチャレンジ!

(単位: 百万円)	2016年3月期(第70期)		2017年3月期(第71期)			
	2Q実績	通期実績	2Q実績	増減率%	通期計画	増減率%
売上高	220,243	447,774	208,335	△ 5.4	460,000	2.7
営業利益	6,378	13,258	5,132	△ 19.5	13,300	0.3
経常利益	6,593	13,503	5,105	△ 22.6	13,600	0.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,428	9,192	3,379	△ 23.7	8,700	△ 5.4

(単位:百万円)		売上高計画	(増収率)	営業利益計画	(増益率)	(利益率)
生産財事業合計	下期 ※	171,493	10.4	6,334	15.8	3.7
	通期	310,000	0.6	10,700	△ 3.5	3.5

生産財事業「ONEXT YAMAZEN 2018」 3カ年売上計画



※ 下期の計画数字は通期見込と2Q累計実績の差額

国内機工/仕入先上位100社売上計画

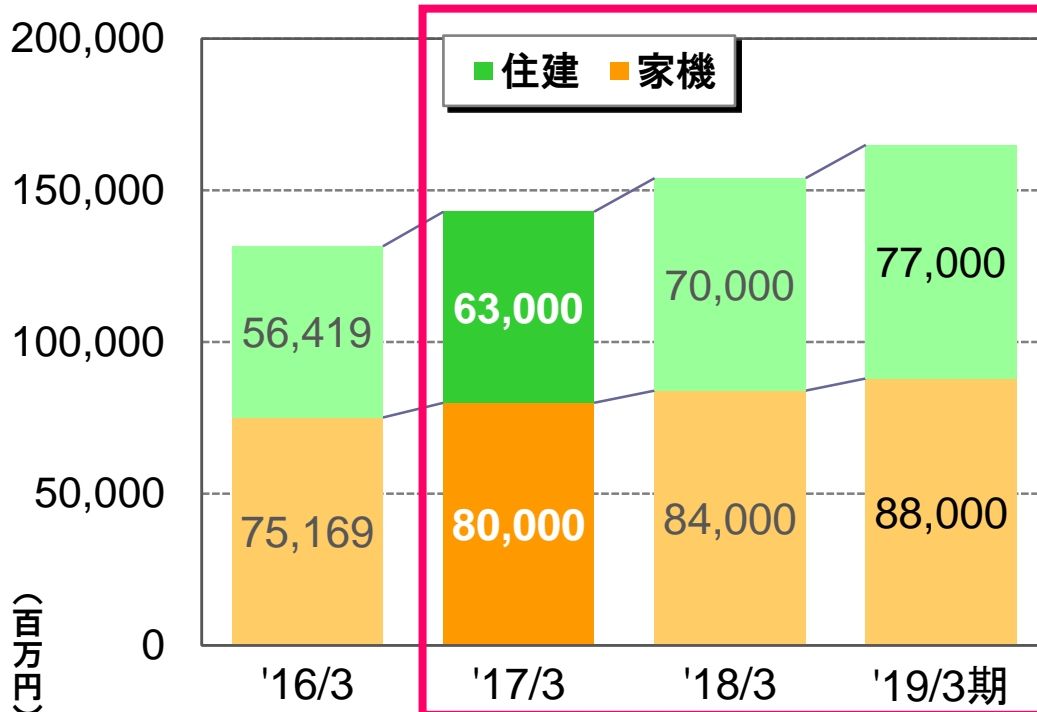
	カテゴリー	'16/9	'17/3	進捗率
①	マテハン	5,258	11,124	47%
②	メカトロ	6,386	15,537	41%
③	環境改善機器	3,364	6,910	49%
④	流体機器	3,800	8,525	45%
⑤	鉄骨加工機械	2,689	5,175	52%
⑥	切削工具	7,300	15,650	47%
⑦	補要工具	3,250	6,717	48%
⑧	測定・計測	2,416	5,984	40%
⑨	産業機器	11,581	23,773	49%
⑩	空調設備機器	1,063	1,535	69%

* 今期よりカテゴリを一部再編 (単位:百万円)

(単位:百万円、%)	2017年3月期 (第2四半期)	2017年3月期 (通期)	(進捗率)
	売上高	売上高	
大阪営業本部	28,248	63,500	44.5%
東日本営業本部	36,617	81,350	43.8%
名古屋営業本部	18,694	40,900	45.7%
九州営業本部	7,742	16,850	45.9%
広島営業本部	6,178	13,200	46.8%
USA営業本部	5,445	13,855	39.2%
台湾営業本部	6,113	13,480	45.3%
アセアン営業本部	10,057	21,322	47.2%
中国営業本部	9,962	27,565	36.1%

(単位:百万円)		売上高計画	(増収率)	営業利益計画	(増益率)	(利益率)
住 建 事 業 部	下期 ※	35,090	21.7	1,073	43.4	3.1
	通期	63,000	11.7	1,700	25.0	2.7
家庭機器事業部	下期 ※	41,995	6.9	1,338	△ 9.3	3.2
	通期	80,000	6.4	2,500	△ 0.4	3.1

消費財事業「ONEXT YAMAZEN 2018」 3カ年売上計画



■ 住建／カテゴリ別売上計画

	カテゴリ	'16/9	'17/3	進捗率
①	水廻り・給湯	11,797	26,000	45%
②	環境・空調・太陽光	10,287	25,000	41%
③	建設資材・他	5,826	12,000	49%

■ 家庭機器／PB売上計画

	カテゴリ	'16/9	'17/3	進捗率
①	生活家電	11,760	27,130	43%
②	インテリア	4,344	10,220	43%
③	エクステリア・レジャー	4,722	8,505	56%
④	工具・園芸	2,105	3,825	55%

(単位:百万円)

(単位:百万円)		生産財	消費財		その他	合計
			住	建		
売 上 高	前期実績	308,117	56,419	75,169	8,067	447,774
	当期計画	310,000	63,000	80,000	7,000	460,000
	前期対比	100.6%	111.7%	106.4%	86.8%	102.7%
営 業 利 益	前期実績	11,086	1,360	2,511	△1,700	13,258
	(利益率)	3.6%	2.4%	3.3%	—	3.0%
	当期計画	10,700	1,700	2,500	△1,600	13,300
	(利益率)	3.5%	2.7%	3.1%	—	2.9%
	前期対比	96.5%	125.0%	99.6%	—	100.3%
	(増減)	△0.1	0.3	△0.2	—	△0.1

※為替レート=前期:120.15円、上期:105.2円(期中平均) / 計画:105円

IV. 株主還元

■ 配当金の推移

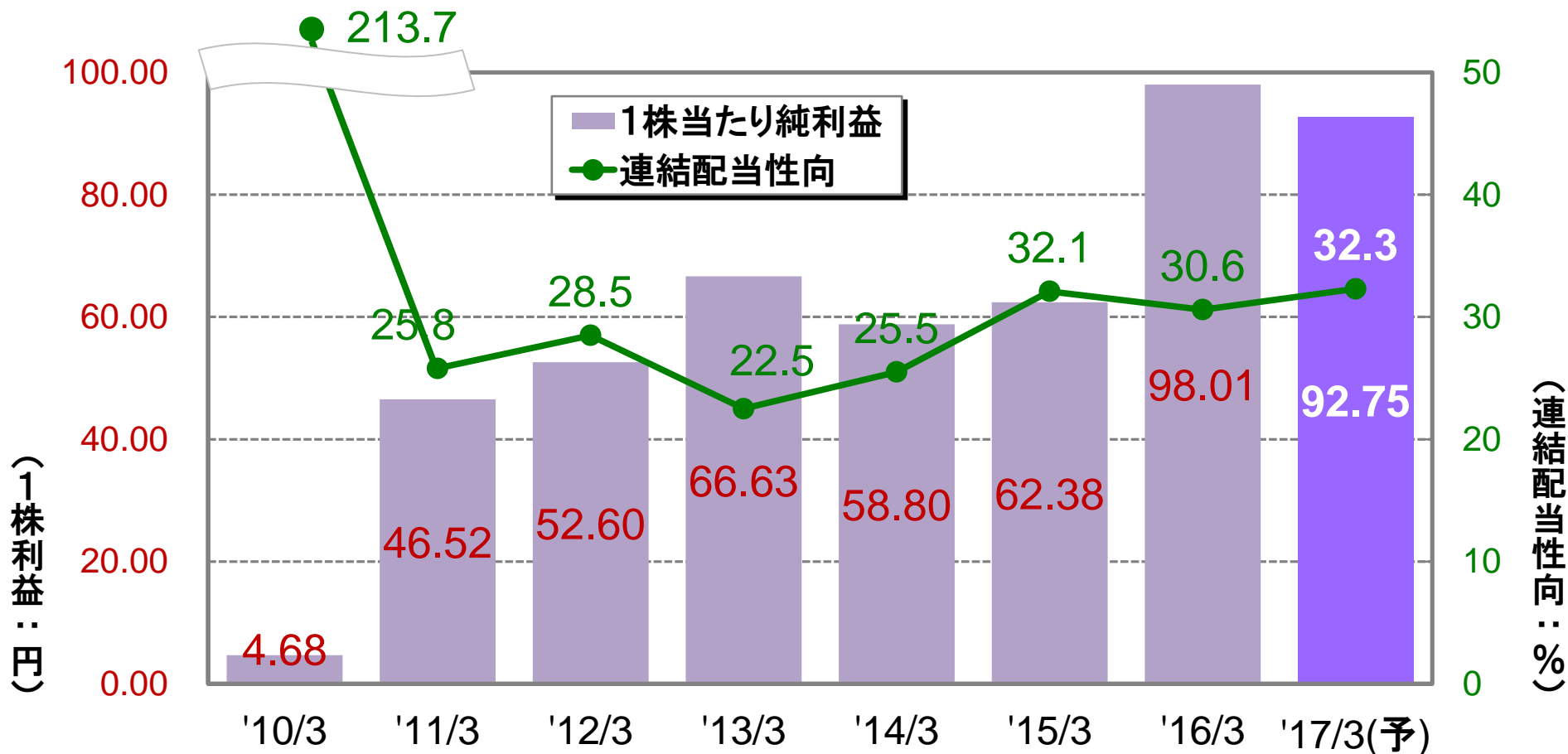
		'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3予
連結配当性向(%)		213.7	25.8	28.5	22.5	25.5	32.1	30.6	32.3
配当金額 (円)	中間	5.0	5.0	7.0	7.0	7.0	8.0	12.0	13.5*
	期末	5.0	7.0	8.0	8.0	8.0	12.0	18.0*	16.5*

* は特別配当または記念配当を含んだ数字。

□ 利益配分に関する基本的な考え方

- △ 前中期経営計画では、「連結配当性向を30%を目途に引き上げる」事を方針に取り組んできましたが、最終年度である2016年3月期は、普通配当27円+特別配当3円=30円を配当、連結配当性向を30.6%とし、目標を達成しました。
- △ 今後は、株主の皆様への安定的な配当を基本に、利益水準を考慮し、さらなる配当水準の向上に努めてまいります。
- △ 内部留保金につきましては、株主資本の一層の充実を図りつつ、持続的な事業発展に繋がる有効な投資に充当し、中長期的な成長による企業価値向上を通じて、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

- 普通配当金額: 中間12.0円 + 期末15.0円 = 年間27.0円
- 記念配当金額: 中間 1.5円 + 期末 1.5円 = 年間 3.0円
- 年間配当合計: 30円 連結配当性向 32.3%を予定。





この資料には、当社の計画及び業績見通し等が含まれております。将来の計画や予想数値などは、現状の入手可能な情報により、計画・予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件・要素によりこの計画等とは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

本資料、個別ミーティングに関するお問い合わせ先

経営企画本部 経営企画部 広報・IR室

TEL: 06 - 6534 - 3095

／ FAX: 06 - 6534 - 3280

e-mail: info06@yamazen.co.jp

amaze! **in**
YamazeN.

驚きは、山善の中にある。